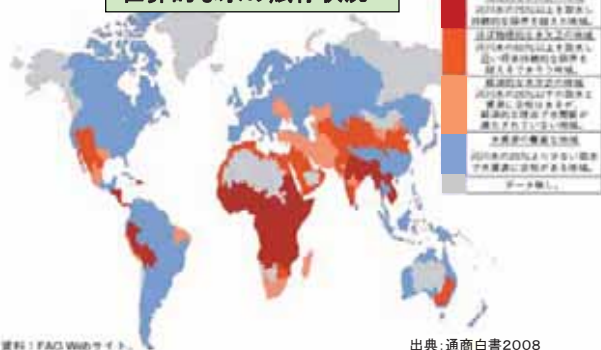


Ⅲ章関連

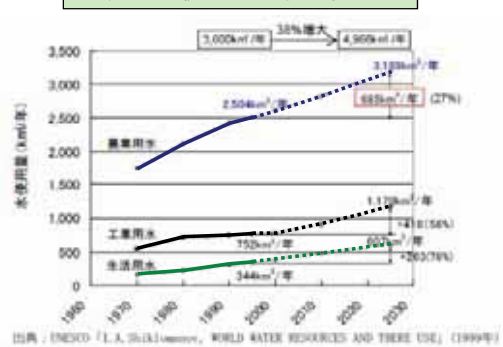
水・食料・資源・エネルギーの枯渇 ①水・食料

○ 世界の水使用量が大幅に増大することが予測される中、水資源は偏在。

世界的な水の賦存状況

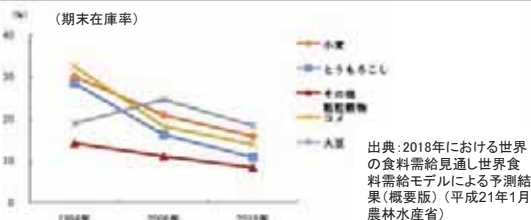


世界の水使用量の将来見通し



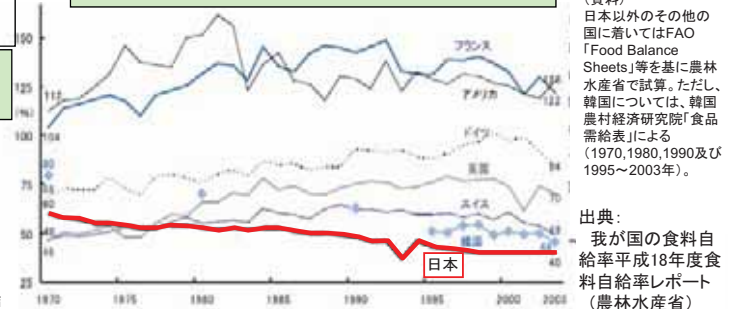
- 日本の食料自給率は主要先進国中最低水準。
- 穀物及び大豆の消費量は、増加の見通しである上、消費の伸びに生産が追いつかず、期末在庫量(率)が低下する見通し。

穀物及び大豆の品目別期末在庫量(率)の見通し
～世界食料需給モデルによる予測結果～



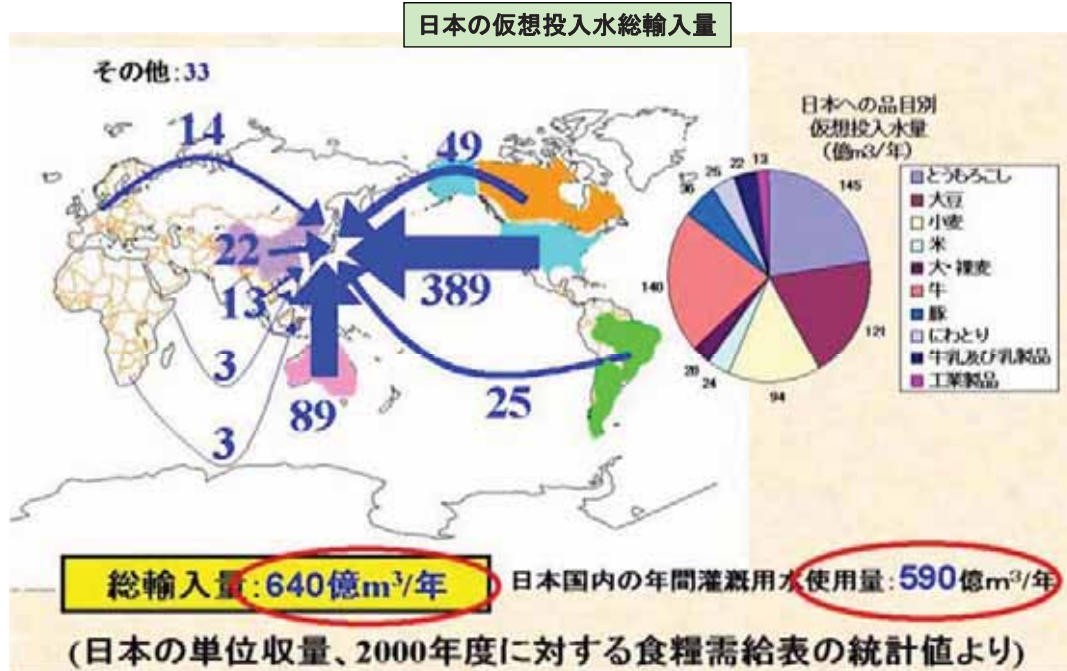
出典：農林水産省国際食料問題研究会第7回(平成19年7月5日)
資料1 世界の水資源と食料生産への影響

主要先進国の食料自給率(カロリーベース)



水・食料・資源・エネルギーの枯渇 ②ヴァーチャル・ウォーター

○ ヴァーチャル・ウォーター(仮想水)の考え方をを用いると、水資源においても日本の海外依存の傾向が見て取れる。



※ヴァーチャル・ウォーター(仮想水):
モノを生産するためには水資源が使われており、国際的な穀物の輸出入等は、あたかもvirtual waterを輸出入しているのと同じであるという考え方。
出典: 東京大学生産技術研究所 沖大幹教授HP『世界の水危機、日本の水問題』 <http://hydro.iis.u-tokyo.ac.jp/Info/Press200207/#VW>

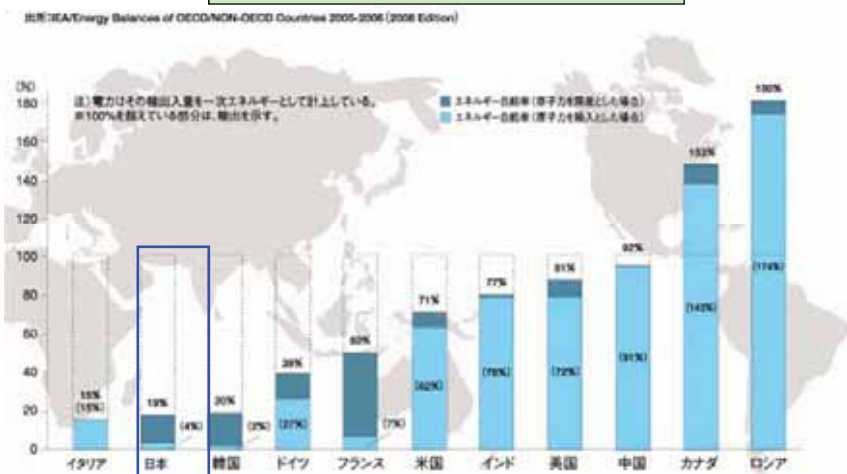
水・食料・資源・エネルギーの枯渇 ③エネルギー

- 世界のエネルギー需要は増加の見込み。
- 日本のエネルギー自給率は主要各国と比較しても非常に低い水準。

世界のエネルギー需要の見通し



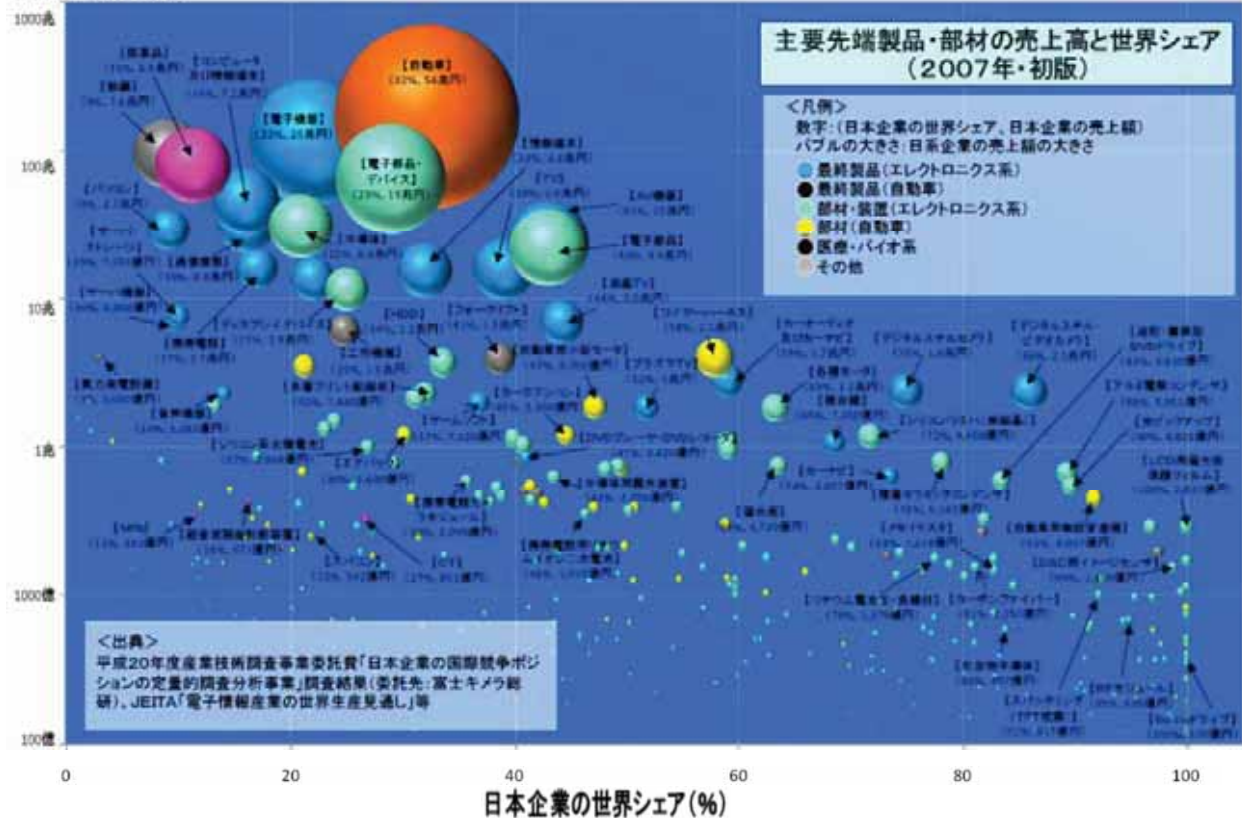
主要国のエネルギー自給率(2006年)



出典: 日本のエネルギー 2009(経済産業省資源エネルギー庁)

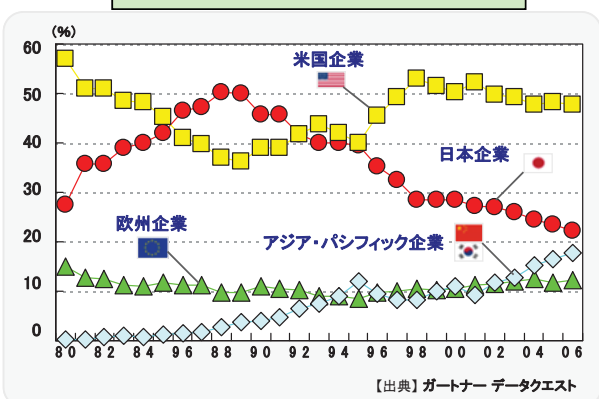
我が国の主要産業の世界シェア

世界市場規模(円)



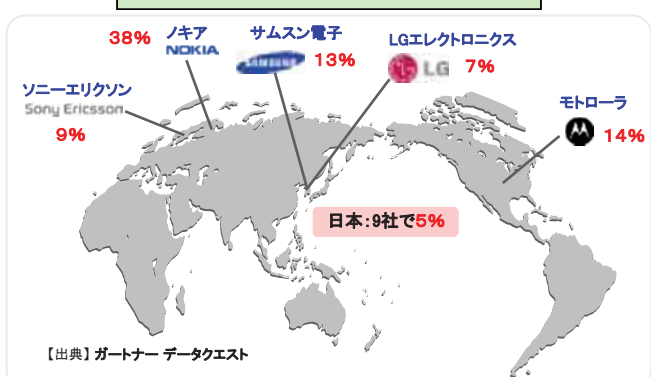
主要産業の現状

半導体売上シェア推移(地域別)



- ・80年代後半に50%以上あった日本のシェアは、それ以降低下傾向にあり、現在20%強
- ・2000年以降、売上高10位以内に、日本企業は2~3社

携帯電話端末売上シェア(企業別)



- ・コンテンツや多機能化により、一時、日本は「ケータイ王国」に
- ・「ガラパゴス化」: 国内市場で独自の進化
- ・2007年末、販売奨励金の撤廃により、端末費が急騰し、国内販売量が激減
- ・汎用携帯が主流の海外への展開が困難

かつて高い国際競争力を有した産業において、他国の追上げや、社会システム上の問題から、国際競争力が低下